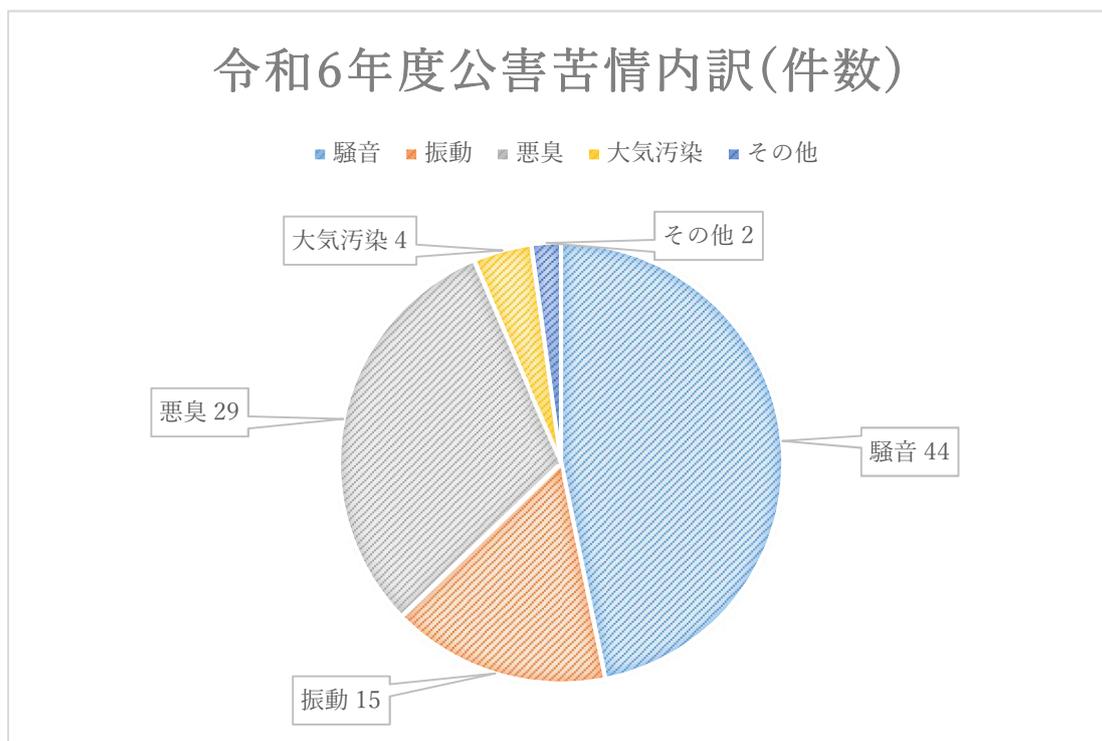


第11章 その他の環境保全対策

1 公害苦情処理

公害の苦情を受けた場合、その内容を調査し、発生源に対し必要な指導等を行い公害の防止に努めています。令和6年度は94件でした。(同じ発生源に対する同じ苦情者からの苦情は多数あっても1件とし、大気汚染と悪臭、騒音と振動など複数にあたるものはいずれかに分類しています。)



公害苦情受付件数

年 度		R 3	R 4	R 5	R 6
受付件数 (件)		123	109	98	94
内容別件数 (件)	大気汚染	2	3	2	4
	水質汚濁	1	0	1	0
	騒 音	46	49	40	44
	振 動	15	15	10	15
	地盤沈下	0	0	0	0
	悪 臭	58	41	45	29
	地下水汚染	0	0	0	0
	土壌汚染	0	0	0	0
その他	0	1	0	2	

2 その他

(1) 地域猫不妊去勢等手術費用の一部助成

平成28年度より、市民の生活環境の保全を図るため、適正な地域猫活動を行っている団体に対して不妊去勢等手術費用の一部を助成しています。

地域猫活動とは、地域住民が主体となり、活動地域の理解を得て、飼い主のいない猫を一代限りの生を全うするまで適切に管理していく活動であり、人と飼い主のいない猫が共生していくための有効な手段のひとつと考えられています。主な活動内容としては、給餌場や排せつ場の管理、不妊去勢手術の徹底、周辺美化などが挙げられ、将来的に飼い主のいない猫の数やトラブルの減少が期待できます。

令和6年度は不妊手術（メス）21件、去勢手術（オス）25件に助成金を交付しました。

(2) あき地の適正管理指導

「八千代市あき地に係る雑草等の除去に関する条例」に基づき、あき地の所有者又は管理者に対して管理不良状態にならないよう文書で通知しています。また、近隣等からの苦情があった場合には現地の状況を確認し、あき地の所有者等へ連絡及び指導等を行っています。

あき地の適正管理指導件数

年度	当初通知件数	苦情受付件数	年度	当初通知件数	苦情受付件数
R1	138 件	61 件	R4	117 件	55 件
R2	132 件	56 件	R5	101 件	36 件
R3	124 件	63 件	R6	79 件	71 件

(3) スズメバチ等駆除用防護服の貸出し

市民の皆さんが自らスズメバチやアシナガバチなどの巣を駆除しようとする時、安全に駆除作業が行えるよう防護服（ヘルメット、服、手袋、長靴）を無料で貸出しています。ハチが巣を作り始めるのは5月頃からで、巣が小さいうちに駆除することをお勧めします。スズメバチやアシナガバチが人を刺すのは、巣に近づいたり巣に刺激を与えたりした時です。餌を探しているハチに近づいても、ハチは刺してきません。（ただし、オオスズメバチは樹液などの縄張りを主張することがあります。）

なお、ハチは毎日、イモムシや昆虫などを大量に捕獲し、バランスの取れた生態系を維持するのに役立っています。もし、ハチの巣が日常生活に支障がない場所にあるのであれば、そのままにして置くのも有益です。ハチが翌年その巣を使うことはありません。

防護服の貸出件数

年 度	貸出件数
R 2	6 件
R 3	1 件
R 4	24件
R 5	25件
R 6	50件



防護服着用の様子

※令和2年度及び令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の
感染拡大防止のため、貸出を休止していた期間があります。

(4) 箱わなの貸出し

市では「八千代市鳥獣被害防止計画」を策定し、アライグマまたはハクビシンによる被害が発生しているところに箱わなを設置し、捕獲しています。また、捕獲した個体は清掃センターに持ち込み殺処分しています。

箱わなの貸出件数及び捕獲実績

年 度	貸出件数	捕獲実績 アライグマ	捕獲実績 ハクビシン
R 2	33件	0 匹	8 匹
R 3	17件	0 匹	2 匹
R 4	37件	1 匹	5 匹
R 5	25件	1 匹	4 匹
R 6	41件	3 匹	2 匹

3 八千代市第3次環境保全計画の進捗状況

八千代市第3次環境保全計画の進捗状況

環 境 指 標	基準年度値	現 状 値	中間目標値
	2019 年度	2024 年度	2025 年度
公害苦情件数	82 件/年	94 件/年	75 件/年